

「第 2 次 いきいき西区ささえあいプラン」 コミ協別計画の取り組み状況について

※ 各資料の右下に以下の番号を記載しています。

- ① 内野・五十嵐まちづくり協議会
- ② 西内野コミュニティ協議会
- ③ コミュニティ中野小屋
- ④ コミュニティ佐潟
- ⑤ 坂井輪中学校区まちづくり協議会
- ⑥ 坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会
- ⑦ 東青山小学校区コミュニティ協議会
- ⑧ 五十嵐小学校区コミュニティ協議会
- ⑨ 真砂小学校区コミュニティ協議会
- ⑩ 青山小学校区コミュニティ協議会
- ⑪ 小針小学校区コミュニティ協議会
- ⑫ 黒埼南ふれあい協議会
- ⑬ 大野校区ふれあい協議会
- ⑭ 立仏校区ふれあい協議会
- ⑮ 山田校区ふれあい協議会

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」 コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：内野・五十嵐まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成 29年 6 月 24 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会館などを開放し、世話役を配置して多種多様な催しを実施 ○内野駅前に、子どもから高齢者まで気軽に集える地域の拠点（居場所）を開設 ○地域住民の交流促進 ○地域全体で子どもたちの健全育成を推進	地域ふれあい事業の回数増加	★地域の茶の間の実施(各自治会) ★内野DE月見酒を実施(11/27) ★自らすすめる健康づくり教室を開催(2/15)	★各自治会で週一・月一等の格差があるので今後も回数増加に努めていきたい。 ★内野まちづくりセンターがオープンしたのでいろいろな活動が気安くできるようになった。 ★盆踊りの普及と地域のコミュニケーションを図った。
	内野地区集会施設で、ミニコンサートなどイベントを開催	★ジオラマ展示会を実施(11/19・20 3/25・26) ★内野盆踊り大会実施(7/30)	
	内野盆踊り大会や内野DEアートなど地域行事を拡充	★内野まつりカラオケ大会(9/18) ★内野まつり(9/16・17・18) ★餅つき大会(各自治会で実施 12月)	

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○地域住民が日ごろから自治会役員や民生委員・児童委員と連絡が取れる関係を構築 ○防犯パトロールの充実 ○地域の安心・安全のため、セーフティスタッフの増員や防犯灯の増設	あいさつ運動や公園の清掃活動に積極的に参加	★パトロール用ベストを用意して小学校児童の交通安全指導の実施(4月～) ★内野地区防災訓練の実施(10/23)	★各自治会とも積極的に取り組んでいるので今後も継続実施していきたい。
	防犯パトロール強化月間を設定	★各自自治会で夜間防犯パトロール実施(6月～9月)・火の用心パトロール実施(7月～8月)	

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○各種事業への参加者が増えるよう、地域住民への積極的な働きかけを実施	コミ協や自治会・町内会でまちに花を植える取り組みを推進。参加自治会・町内会の増加		★ポスターを作成して周知 ★今後も継続実施して参加数の増加に努める。
	定期的な町内清掃活動の実施	★内野中の生徒と海岸一斉清掃の実施 (7/18) ★内野一斉クリーンデーの実施 (7/24)	
	ごみの出し方の周知徹底について、自治会・町内会で繰り返し実施	★クリーン新潟推進委員研修会への参加	
	新川、広通川の美化活動を地域みんなで実施	★西川の土手歩道の草刈り(年2回)・・・隣接の自治会	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会・町内会の仕事はひとりに負わず、地域みんなで協力	自治会・町内会、民生委員・児童委員、大学などの情報共有促進	★内野まち協だよりの発行(年4回) ★定例会の実施(1回/月)で情報共有を図った。 ★月2回の回覧板での情報共有	★町内の防災訓練へ大学生参加 ★まだまだ委員や有志だけの活動が多いので今後の取組が重要 ★何かの時は気安く手を挙げて皆で活動できる地域に取り組みたい ★最近が高齢化が進んで町内の班長等もできない人が増えてきている班が多くなってきている
	地域の情報は回覧板などを利用して積極的に住民に周知		
	自治会・町内会や老人クラブなどにおいて、ボランティアの募集・育成の取り組み強化		
	中・高・大学生を地域のボランティアとして積極的に活用		
	障がいがある人にも積極的に地域活動に参加してもらうことで、地域との接点を増加		

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について(平成28年度結果)

コミ協名: 西内野コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支え合い、助け合う地域づくり

平成 29年 6月 23日 作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H28)	成果・課題等
○コミュニティセンターや自治会館・町内会館、空き家などを活用し、気軽に集まれる交流の場の開設	老人クラブ、婦人部等と協力し、「茶の間」を増設	<ul style="list-style-type: none"> 「茶の間各13コース」:老人クラブ「六和会」、婦人部、おたすけ隊が各開催(毎月1回/会館) (新中浜) 「サロン「ささえ愛」:有志活動(毎週金曜 9時~16時)/会館 (新中浜) 「金曜茶の間」:老人クラブ「喜楽会」主催(毎月1回/会館) 「火曜サークル」:婦人部主催(週1回/会館) (ちぎり絵教室で手先、脳の活性化を図る) (西新町) 「火曜茶の間」:老人クラブ「明寿会」主催(毎週火曜13時~16時)/会館 (平和台) 「茶の間」:老人クラブ「松葉会」主催(毎月2回/会館) (広通江)(五十嵐中島)合同 「シルバーの会」:有志が集まり主催(毎月1回/会館) (テーマを決めないで自由発表、意見交換行う) (上原団地) 「茶の間」:老人クラブ「長寿会」が新規開設(月1回/会館) (上新町) 「体操茶の間」:婦人部が主催(月1回/会館) (第七団地) 	<ul style="list-style-type: none"> * コミ協内の10自治会/町内会で活動は一長一短はあるが8自治会/町内会で「茶の間」を開設中(昨年より1増) ・ 超高齢化で参加人員が減ってきているグループがあり今後の新規参加者に対し魅力作りが必要である。 * 各老人クラブの上部組織として「西内野老人クラブ協議会」設立の為、各老人クラブから会長・副会長を招集し意見交換を行った。(新年度設立総会を行う) ・ 各グループの「茶の間」活動の情報交換行い更なる「茶の間」の魅力を展開していく。 ・ 老人憩いの家「中島荘」の管理、運営を新年度から実施する。
○みんながあいさつする、笑顔で明るいまちづくりの推進	西内野小学校「なかよし会」を中心とした挨拶活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝夕の通学時に各自治会/町内会役員が道路に立ち挨拶活動実施 	<ul style="list-style-type: none"> * コミ協:青少年・文化部がバックアップする。 ・ 9月5日~9日の朝夕を重点実施日とする。 ・ 役員は防犯パトロール用チョッキ着用する。 ・ ボランティア者による交通安全監視は随時実施
○子どもから大人まで、住民が多く参加できる行事や活動を行い、交流と親睦を推進	親子で楽しむスポーツ大会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミ協主催:盆踊り大会、餅つき大会 ・ 「西内野老人クラブ協議会」設立準備:コミ協 ・ 輪投げ大会(新中浜「茶の間」が主催:12月) ・ 輪投げ大会(広通江:12月) ・ ボーリング大会(西ヶ丘:年1回) ・ 地引綱大会(上原団地:7月)早朝越前浜に集合、全員綱引き 	<ul style="list-style-type: none"> * コミ協主催(盆踊り/平和台通り 餅つき(西小体育館) ・ 盆おどり大会:7月23日(土)(18時~21時)約450名 ・ 餅つき大会:11月27日(日)(10時~12時)約700名 * 今後も継続したい。(新中浜) * 肝心の子ども参加が少ない。今後検討要(広通江) * マンネリで今後内容の検討要(西ヶ丘) * 今後も継続したい(上原団地)

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H28)	成果・課題等
○災害時に要援護者を支援できる地域における体制づくり	自治会、町内会単位での支援体制の組織化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「訪問員おたすけ隊」、「災害時支援体制」(班別): (新中浜) ・ 「要援護者マップ」、「民生委員見守り活動」、「緊急情報キット配布済」:(西新町) ・ 「災害時要援護者」(班別): (広通江)(第七団地)(上新町)(五十嵐中島)(ひまわり) 	<ul style="list-style-type: none"> * 概ね組織されているが明確になっていない処は早急に構築する必用あり。 * 最低、各班別に支援体制が必要 ・ 要支援者が所属している班長業務となるが現実には機能してなく効果的な実施方法検討必用 (広通江) ・ 役員のみで見守り活動では災害発生時不安 (西新町)
○隣近所で声をかけあい、高齢者や子どもを見守りを推進	社協等の連携による見守りの実施(友愛訪問事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員が見守りを実施:(全自治会/町内会) ・ 子ども見守り、町内パトロール:毎月実施(西ヶ丘) ・ 「にこにこ訪問員見守り事業」第1木曜、第3木曜/月実施 女性10名を5班編成で訪問:(新中浜) 	<ul style="list-style-type: none"> * 各種勉強会を開催 ・ 医療・介護・自転車の安全運転等実施(西新町)

○防犯パトロールとともに危険個所の点検を行い、地域の安全を確立	防犯パトロール、老人クラブと連携した高齢者交通安全教育の実施	・防犯パトロール:コミ協(防災、防犯部)が主催 ・老人クラブで高齢者交通安全教育実施(新中浜) ・春秋交通安全運動期間中で交通街頭指導実施:(ひまわり)	*自治会/町内から47名参加要請し6班編成で9/4~11/2迄(週2回:日曜日、水曜日:19時~1時間程度)実施
---------------------------------	--------------------------------	--	--

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H28)	成果・課題等
○地域における一斉清掃や花を植える活動など、住みよくなる地域づくりの促進	緑化活動推進事業を活用した公園等の緑化	・緑化活動推進事業を実施(新中浜) ・ひまわり公園にチューリップを植えた。(ひまわり団地) ・公園に花苗、球根を植え定期散水を実施(広通江) ・公園活用で夏休み中公園で朝のラジオ体操実施(上原団地)	*芝さくらを公園に植える為、町内畑で増殖中(新中浜) *公園整備を西区建設課に要望書提出(西新町)
○ごみの分別方法を定期的に確認し、ごみステーションの美化を促進	自治会、町内会でのクリーンにいがた推進制度の活用	・全自治会/町内会共、年2回~3回一斉清掃を実施中 ・ごみステーション分別ごみの定期的指導(ひまわり団地) ・ゴミ分別違反者を見つけた時は指導している(西新町) ・クリーンにいがた推進委員がごみステを定期巡視(第七団地)	*公園・側溝清掃・除草・伐木等実施 ・クリーンにいがた推進員15名登録(新中浜) ・公園は敬老会と担当班、側溝清掃年3回一斉(広通江) ・3カ所の公園は年8回、各班輪番制(五十嵐中島) ・固定ごみSTの為夜間に違反ゴミを出していく(西新町) *簡易ゴミネットが紫外線等で劣化が早い。その都度役員が補修しているが軽量で強靱な製品開発を望む。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H28)	成果・課題等
○広報誌の発行や掲示板の設置により、地域情報の周知と共有促進	コミ協だよりや自治会、町内会だよりにより地域の情報を提供	・「西内野コミ協だより」発行中:年3回 全世帯に配布 ・「新中浜広報誌」発行中(年6回)(新中浜) ・「西新だより」発行中(年3回)(西新町) ・「西ヶ丘かわら版」発行中(西ヶ丘)	*世帯数が多い自治会/町内会は広報紙を作るパワーがあるが殆どが情報源は回覧板、掲示板のみである。 ・必用情報は月3回の回覧物で提供している。(広通江) ・コミ協の広報情報量が多く興味を示さない。(上新町) ・若い世帯数が多く自治活動に興味がない。(西ヶ丘)
○コミ協、自治会、町内会と民生委員・児童委員、各種団体などの情報交換の場をつくり、連携を強化	定期的に、夕映えの会など各種団体との情報交換を実施	・「夕映えの会」広報誌をコミ協から全自治会/町内会に回覧 ・「ゆうえい会」の活動推進員として参加中(新中浜)(上新町)(平和台)	*各種イベントを実施している自治会/町内会がほとんどであるが参加者にばらつきあり。(高齢世帯数と子供数の問題あり)
○町内・班での話し合いを活発にし、住民の地域活動への参加を促進	イベントの開催など地域活動の機会を提供	・各自治会/町内会共各種イベントを開催している。 ・「新中浜まつり」、「敬老会」、「餅つき大会」等:(新中浜) ・「こども夏まつり」、「敬老会」等:(西新町) ・各自治会/町内会で「敬老会」開催若しくは祝い品支給 ・「自治会納涼祭」(子供会が模擬店開設):(五十嵐中島) ・「団地まつり」、「餅つき大会」「子供新年会」「大人新年会」 ・「夏まつり」:(西ヶ丘)(上原団地)	*西コミセン記念事業:コミ協吹奏団演奏・落語・マジック等(西コミセンホール)
○子どもといっしょに遊んだり、行動に参加したりするボランティアの確保	地域教育コーディネーターとの連携	・西内野小学校:中越地震の教訓(6年生対象) ・西内野小学校:地震発生時の身の守り方(4年生)	*コミ協防災防犯部が参加(9/14午後 体育館) *コミ協防災防犯部が指導(2/14午後 視聴覚室)
○子どもの頃からボランティア活動に参加できる環境の整備	西内野小学校「西っ子広場」への参加	・西内野小学校「西っ子広場」で昔の遊びに参加(新中浜) ・セフティスタッフ(ボランティア)として交通安全監視活動(有志) ・こぼとの会:就業前の子どもと母親が遊ぶ:(月4回/コミセン)	*毎回20~30名参加 *ボランティア者の増員が必要 *コミ協:こぼとの会運営委員会主催 *今年新規開催:コミ協役員ボランティア開催、好評であった。
	祭り、茶の間の会、寺子屋など、子どもが参加できる行事の実施	・「受験サポートin西内野」塾:12月上旬~2月下旬11回開催 ・町内会「なかよし会」と連携し町内まつり、寺子屋、クリスマス大会、餅つき大会:(新中浜)	

【スケジュール】 ①4月上旬:コミ協宛て作成依頼 ②4月上旬~6月:コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末:区役所へ提出 ④7月中・下旬:推進委員会で報告

コミ協名：コミュニティ中野小屋

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年 6月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○子どもからお年寄りまでが参加する多世代交流の場づくり ○隣近所同士の交流や助けあいの充実 ○老人会、婦人会などの活動の活発化	親子三代ふれあい会や瑞穂祭などの地域行事の継続	○親子三代ふれあい会 10/10	○親子三代への参加者が増加しているが、高齢化に伴い出演者の減少気味の中で、小学生の日本舞踊への出演のありし頃の光景か？ ○瑞穂祭への出品は展示会場が不足する程である。 ○老人の知恵を活用すべく連携を呼びかけているが、町内の活動にたよる傾向だが、田舎でも稲刈りなどの参加者は多く活発である。
	集会所等を活用したお茶飲み場の開催	○瑞穂祭 10/23 ○各自自治会の集会場は、夫々活発に利用している	
	友愛訪問活動の活発化	○老人クラブの活動は、町内単位の活動に向かう傾向にあり連携を呼びかけている	
	買い物の手伝いなどの生活支援	○買い物通院などの支援は現状では未実施 家族親戚などで行っているとの	
	各老人クラブの連携促進		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○消防団活動の活性化 ○高齢者や子どもの見守り活動の推進 ○地域における小学生の放課後支援を充実 ○不審情報等の速やかな伝達	地域と民生委員・児童委員、消防団との連携した防災への取り組み、情報共有	○学校はじめ、地域の各団体との連携した防災活動の実施	○避難所運営を中心に防災活動実施 中学生とスタッフに入ってもらおう事と意識しており効果は大きい。 ○スタッフジャンパー製作し、通学路の安全に努めている ○少子化の中で利用者は増えているので、その支援は継続していく。
	新聞販売店と連携した高齢者の見守り活動	○交通安全スタッフの充実 強化	
	学校と連携した交通安全街頭指導の実施	○ひまわりクラブ(小瀬小)ふれあいスクール(笠木小)の自主的運営と、それへの支援	
	ふれあいスクールやひまわりクラブへの協力		
	セーフティスタッフ活動の強化		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○老人憩いの家(明和荘、楨尾荘)や集会所の活用 ○高齢者が外出し、交流できる場づくりの促進 ○各種サークル活動との連携 ○公共交通機関整備への働きかけ	健康教室、健康体操、ダンベル体操など健康づくり活動の実施	○健康教室の開催と公民館、保健センターと相談して実施した。	○昨年は、中学校の体育授業と連携して実施 今までの1.5倍程多くの参加者を得た。 ○5月～8月、毎月曜日に実施した他、区一斉クンターに合わせ、小学生から地域内外の参加者(約250名)で平々拡大している ○内野四ツ角のルート要望しているが、未解決
	カラオケ大会などのイベントを実施	○西川の美化	
	西川の清掃活動への積極的な参加を呼びかけ	○バス路線の見直し	
	内野四ツ角を経由する区バスの運行を要望		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○学校や農協、福祉施設など各種団体との連携強化 ○自治会活動の活性化、情報発信強化 ○農業地帯であるため、後継者、担い手の育成	各種団体責任者の集いの開催	○各種団体責任者の集い 12月中旬	○各種団体の抱えている課題の発表と意見交換の場であり継続すべきである。 ○今回は西川の源流と祖業 交通費(バスの借上げ料)の大きい負担となってきているのではなか？ ○学校田畑、その神は通して、老人の交流 継続支援を継続
	自治会長研修会の開催	○自治会長研修会 7月中旬	
	農作業体験会の開催	○各種作業の体験	

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

コミ協名：コミュニティ佐潟

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年5月1日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○学校開放や地域施設を活用し、地域住民の交流推進 ○高齢者や子どもたちの茶の間、居場所確保 ○地域活動グループの確保	学校やメイワサンピアとの連携	各校行事の行事主催に関し協力を惜しまず参加メソッドを共有し、行事の施設の利用等協働	成果 結果等路地域間で出ていると思う 歴史、伝統の味塚、木山、四ツ郷屋、新いみ野 野が各地区としての特色を持ちながら交流し、新機 を月ごとに盛りだくさんで行ければ、発展性の余地が 机との論議を要する実行力、ノウハウが必要
	ソフトボール大会など、スポーツ大会の開催	年々数回、木山、赤塚、みずき野で親善大会を開催 カリコン大会、福引など	
	老人クラブ、婦人部等と協力した茶の間、居場所の開設	みずき野地区は茶の間等親睦を深めている 木山、赤塚地区は人々集まる所が茶の間同様、移型に 押しこめようとしている	
	自治会・町内会の集会所、公民館・公会堂を有効活用	自治会の会、説明会、軽スポーツ(輪投げ)、親睦等々利用	

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○防犯対策を検討 ○交通事故や犯罪増加のため、防犯灯、信号機、歩道など、施設整備と環境整備を拡充 ○被災者や避難者の受け入れ施設、住居の検討、確保	高齢者や子どもたちの見守り隊の実践	常時見守り隊を各町内会、夜間見守り隊を各町内会 各町内会でやっている	これらに実績を残し、前向きに取り組んでいく 言は易い行は難い。ボランティア募集、ボランティアを 求め、反応は鈍い。余程の理解を得なければ 自らの為だけでなく、地域の為という社会貢献 は容易でない 序の意発動をする必要地があり 地域間での過度な理解と認識の不足を付
	夜間パトロールの実施	負担が大きく、短絡的には可能だが、持続的に行えない 市の指導もあり、各町内会に実施している	
	災害避難所マップの作成、配布	マップの作成とワークショップ等で周知	
	地元消防団との連携、消防団活動への後方支援	消防団活動は積極的にやっており、地域の防災活動 中に貢献しており、自治会組織を支援している	
セーフティスタッフの体制強化	取組意識、取組意識を有する人材を育てる		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○地域外の人のごみ捨てを防止する環境づくり ○自治会と学校で協力、連携したクリーンアップ活動の推進 ○高齢者の交通手段を検討 ○古くからの地域行事、慣習(慶弔や地元の確認)を通じてつながりや交流を促進 ○健康寿命をのばす予防事業などを展開	不法投棄、地域外の人のごみ捨てに対する地域での監視強化	不法投棄の事例は少ないが、中にはあり 看板を立てたり、啓発活動はしている、ゴミ拾いもしている	課題の実行と解決は、あくまで 行動するにしろ、人の力、他は本願になり、一定の 理解と支持を得なければ、前向きな行動は バスに因るとは、現状維持今の時夫々行動は 必要だが、利用者の増加、人口高齢化 免状返納、バス解決等、問題解決の展望が必要
	地域の老人クラブや親子で歩道等の環境整備	クランターの清掃、標識等の設置	
	佐潟のクリーンアップ活動の継続	地元が中心となり、毎年冬の準備、清掃等、ボランティアを募集している	
	バス路線拡大の要望を継続	継続申請しているが現状打開には至っていない	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○広報活動の活発化による情報発信の充実 ○定期的に各種団体との情報交換を実施、連携の強化 ○赤塚・みずき野・四ツ郷屋の各地区から担い手を発掘、確保 ○今のつながり「向こう三軒両隣」=地域ネットワークの継続	コミ協や自治会・町内会の広報紙による地域情報の発信	情報の発信連絡系、各町内会等々実施	何事も知る人が知る、知る人は知らないが現状 知らなくても行動しなければ知らぬのと一緒であり 認識は行動すべきである。思いやるのは誰か 考え、思いつきはいいが実践すべきである 大事な事を明確にして、行動すべきである 必要(これは一理事としての主観を前向きに言えない)
	広報紙の全世帯配布(年4回)	各町内会、親子を通じて情報共有の提供	
	コミ協の会議などで、地域の課題を話し合いながら、団体間の連携を強化	主権者の会議を通じ、テーマを通じ、改善案を提出	
	イベントの開催など地域活動の機会を提供し、またボランティア協力者を募集	コミコテ、自治連など、年間を通じ、実施	
声かけなどの訪問先の情報整備(高齢者や要援護者など)	声かけなどの訪問先の情報整備(高齢者や要援護者など)	民生活員、自治会員が必要と判断した時、声かけの現状確認	

コミ協名：坂井輪中学校区まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年 6月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況（H28）	成果・課題等
○地域包括ケアシステムの構築とその取り組みの推進 ・高齢者への見守り・支えあいネットワークに構築 ・高齢者の孤立・孤独死の防止 ・認知症対策の推進	自治会館・公民館等を利用し、地域の茶の間の開設	福祉部が直接自治会長宅を回り現状把握に努めると共に、各地域の茶の間にも参加し融和を図った。	新たに2自治会が地域の茶の間を立ち上げ、効果が図られた。自治会長の1年交代、自治会館が無い等の問題をどのように解決するかが課題。
	さかい輪ふれあい収集事業	高齢化や核家族に伴い、家庭ごみの搬出が困難な世帯が増えており、協力業者（もぐら工房）に委託し、週1回以上ごみ収集を行った。	登録世帯数47軒延べ利用回数4,455と利用者が増加傾向にあり、現状の対応は困難となってきた。平成29年度から日常生活支援事業として新たな体制づくりを行い2チーム編成として取り組むことにした。
	友愛訪問員の拡大	三者合同研修会（民生児童委員、友愛訪問員、自治会役員）を年2回開催し、各自治会の現状、問題点の発表を行うと共に講師（新潟医療福祉大、坂井輪診療所、社会福祉協議会）を迎え意見交換をする中で問題解決に取り組んだ。	三者合同で取り組むことにより課題が解決できるとの思いが熟成されつつあるが、地域課題を三者でどのように連携し対応して行くか、そのシステム作りが今後の課題。
	介護予防リーダー研修		
	認知症などの問題解決プロジェクト結成		
○子育て支援の充実と地域子育てネットワークの構築	地域と学校との連携によるあいさつ運動の展開	地域の小中学校と連携し年2回（6月・10月）あいさつ運動を月間と位置付けて街頭に立証しあいさつを交わす運動を展開した。	各学校の先生方の指導のもと、地域の方と子どもたちが街頭に立ち自分から自然とあいさつできるような雰囲気が出てきている。あいさつ運動を継続し地域の絆を深めていきたい。
	親子の居場所プレーパークの実施	少子化により子ども同士で工夫しながら遊ぶ機会や親同士の交流の場の減少を少しでも解消したく遊び場を作り、遊びの想像力、親のネットワークを育てていく。	仲間同士の協力、おとなの子どもへの関心、親同士のかかわりなどが深まってきている。地域における若い担い手の育成につなげていきたい。
○女性の力を結集し地域課題の解決	地域ふれあいの場所開設等支援事業	新潟県立大学准教授 小池由佳氏招き、「地域における子ども食堂の役割」をテーマに子ども食堂シンポジウムを実施した。	実践事例現地研修の開催によって、女性支援隊メンバーへ子ども食堂開設の重要性の共通理解を得られた。子ども食堂の開設の可能性や地域の方々へ必要性の周知を図ってきたが、今後の実践活動については、事業主体を固めることが重要となっている。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○交通安全運動の推進	小学校を対象とした交通安全教室の実施	自転車模擬運転装置による安全教育を実施、正しい乗り方を学んでもらった。	動的教育手法による学習効果が大きかった。今後とも交通安全教育を継続させる。
	高齢者向けに反射材の配布	夜光反射材とその効果を記したチラシを配布した。	反射材とチラシの配布は好評を得た。継続実施し普及を図る。
	交通安全運動期間の積極的参加, 街頭指導	春夏秋冬の各期に街頭指導と広報を実施した。	坂井輪地区の人身事故は減少した。
	道路等の交通安全点検事業		
	地域の安心安全・命を守ろう推進事業	(26年以降実施) 安全の目印になる「のぼり旗」を通学路及び生活道路に設置した。	交通安全意識の高まりに効果が得られた。継続実施する。
○防災組織づくりと防火・防災訓練活動の推進	自主防災組織づくり支援事業	自治会役員研修と防災訓練を行って防災意識の必要性和組織づくりの啓発を行った。	自治会単位ごとに地域防災について少しずつあるが理解をしてもらっているように感じる。
	自主防災合同訓練・自治会単位防災訓練開催	防火防砂及び自然災害等に対処するため、避難運営/初期消火/濃煙体験/AED実施/炊出し訓練を行った。	自然災害等に備えるために多くの地域住民の参加を得て、消火器/AED実施訓練をおこなうことにより防災に対する意識が高まった。
	自治会単位の防災マップ作り	自治会役員研修会等で、防災マップの啓発を行った。	取り組状況がやや弱いと感じられる。
	坂井輪レスキュージュニアチーム育成講座	大小規模災害時に対応できる人材育成として、中学生を対象に新潟西消防署の指導の下、レスキュージュニアチーム養成講座を行った。	講座を受講した中学生は、災害訓練を体験し、万が一の時は訓練を生かしたい。防災に対する意識高揚とその重要性と高める。
	子どものための安全教室	消防・防災活動機関の施設と活動実態、その役割などを見聞学習し身近な防災を考える機会となった。	子ども自身の防災についての意識の醸成が図られ、また地域における防災活動の可能性をそれぞれが持てるようになった。
	高齢者に対する「火の用心」一声運動	各自治会の福祉担当者を集め、年2回の高齢者に関する講演会を行うと共に、研修会を行った。	三者合同研修会のグループ討議では、高齢者に対する考え方が徐々にであるが理解れているように感じる。
	災害時要援護者に対する支援活動		
○防犯ボランティア活動等の推進	西警察署との連携による振り込め詐欺・悪徳商法等の未然防止啓蒙活動の実施	ゴールデンウィークや夏休み中の「子どもを守る防犯パトロール」の実施。寺尾駅前、新大駅前の自転車盗難防止及び商業施設の車上狙い防止パトロール及び防犯チラシ配布。高齢者対象の特殊詐欺被害防止講習会とチラシ、ポケットテッシュペーパーの配布を行った。	自転車の無施錠数は減少した。防犯漫談で楽しく防犯意識を高めることが出来た。坂井輪地区の詐欺被害額は減少した。今後とも工夫を凝らした骨導を継続する。
	防犯巡回パトロールの実施		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○地域と連携して地球環境の保全や、環境美化活動を推進	美しい坂井輪づくり環境美化活動	歩道に花を植栽したプランターを、春、秋それぞれ設置歩道の草取り等清掃活動をしなが、地域の方々から見て、楽しんでいただいた。	県道44号線の歩道に、花を植えたプランターを設置し、地域の方々に、「歩道に花のある生活の快適さ」に気づいていただくことができた。協働活動は一部の自治会にとどまり活動の輪を広げる。
	坂井輪を花で飾ろう推進事業	花のある豊かな生活環境の確保及び花植えに於いて学童、保護者、住民の共同作業により地域コミュニティの意識を図る。	小中学生の参加も多く、また、地域住民との共同作業によりコミュニティ意識が高まった。今後も幅広い年代から参加者を募り明るく楽しい生活環境を作る。
	堀などの泥上げ	西区一斉クリーンデーや環境美化活動への参加してもらうため、各自治会にPRを行った	地域自治会の高齢化などによる後継者不足が深刻で、活動にアンバランスがみられ、取り組みが周知されていない実態がある。今後の自治会組織体制づくりが重要である。
	ゴミ不法投棄防止の看板設置		
	西区一斉クリーンデーへの参加	約半数以上の自治会の参加があり、普段は清掃のできない側溝の周りや道路上の草刈りを行う。	子どもや大人同士が一緒になり、作業することでコミュニケーションが図られ、住民同士の面識も図られる作業であり、今後も継続する。
○文化、スポーツの活性化	寺尾地下道に子どもの絵画を展示	地域の保育園、幼稚園、3学校の小中学生の絵画を寺尾地下道に展示し、園児、学童の成長と絵画による触れ合いを行った。	地下道を利用する住民から子どもたちの成長、また、絵画展示の保護者・提供者から絵画制作への励みとなっている。絵画展示により環境整備が図られた。
	家族交流・多世代間交流スポーツの普及事業	グランドゴルフ等のニュースポーツを紹介し体験やミニゲームで交流を図った。	子どもどうしや家族で多数参加された、十分に交流が図られた。また、地域のスポーツ普及に役立った。
○健康づくりへの啓発活動	さかい輪健康づくりフェスタの開催	主として高齢者を対象に医療に頼ることなく健康な心身を維持し、安心して暮らせるために、日常生活で取り組める健康教室を開催。	参加者も多くなり、健康に留意する意識向上者が多くなってきた。回を重ねることにより参加者の中で男性が増えてきたことは大きな成果である。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会同士の連携・協働・ネットワーク作りの推進	自治会長・役員研修会の実施	避難所設営に関する考え方を主テーマに、災害時における各自治体の避難体制を醸成することを目的に行った。	地域の防災問題点、課題等を知り、また防災意識の啓発と地域防災活動に積極的に参加を促す効果があった。今後も更なる防災意識の高揚が求められる。
	三者合同研修会の実施	地域環境を構築するため、友愛訪問員・民生児童委員、自治会長等役員を中心に「超高齢者社会における地域の支え合い」をテーマに講演会及び研修会を行った。	自治会役員・民生委員・友愛訪問員・行政機関の役割がある程度周知されたように感じる
	行政機関との情報意見交換会実施	各行政関係機関から安心安全にかかわる事業活動の情報をいただき、参加者からの意見・要望等を議論し、各行政機関と各自治会の連携を深めた。	自治会役員・行政機関・その他関係機関との意見交換を行い各自治会役員の意識の醸成と地域活動への積極的参加を促す。
	高齢者を支える担い手育成	地域包括ケアシステム構築に向け、地域の福祉活動を円滑に進めることを目的に高齢者を支える担い手育成研修会を行った。	研修会では参加者より多くの意見が出され、地域包括ケアシステムに関する理解と関心が深まった。高齢者を支える人材育成は急務と思われる。
○コミュニティ活動の啓発	広報紙「さかい輪」とかわら版の発行	広報誌を随時発行し、まちづくり協議会でやっている地域活動の関心と理解を深めてもらう。	地域住民に坂井輪中学校区まちづくり協議会の活動内容について関心と理解が深まり、各事業への参加者が増えている。
	広報紙「大道」発行	地域の中心的な役割を担う自治会役員に対し、連合自治部活動の理解と啓発のため広報紙「大道」を発行した。	各自治会役員を含め地域住民にまちづくり協議会の活動の理解を深めると共に、地域課題等について促す効果があった。
○地域産業活性化と住民への生活情報提供	地域で頑張る産業マップづくり	地域内で頑張っている飲食店にスポットを当て、坂井東地区と、新通り地区に分けたマップを作成して地域住民にその店舗の特徴を周知し、活性化を図った。	掲載した店舗や地域住民のこのマップに対しての反響が大きく、また感謝されており、地域内産業の活性化が図られたと思われる。今後も職種別に作成していく予定

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」 コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成 29 年 6 月29 日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○みんなが集まれる集会所の開設	空き家や空き部屋を複数の自治会で借り上げ、自治会館とする取り組みを強化	昨年11月にまちづくりセンターを開所した。4自治会共同の自治会館「あけぼの会館」、他に会館を共同運用する自治会、借り上げ会館なども増加。各種会議、サークル活動も活発化、老朽化したにそなえ積み立ても継続開始している自治会もある。	様々な形の会館増加、会議、サークルなど頻りに開きやすくなり活動が活発になっている。特に育成部の集まりがしやすく、イベントも多く開催され交流も深まっている。共同会館の場合遠い自治会もあり高齢者は参加しづらい。
○地域での見守り体制を強化	友愛訪問を実施する自治会を増したい 民生委員と自治会の協働推進	当協議会では15の自治会で友愛訪問を実施している。まちづくり協議会でもPRしているが、民生委員の取り組みが多い。自治会・ボランティアだけで取り組んでいる自治会もある。	高齢者の見守りが大きな目的、ボランティアを多く募り活動を充実したい。今後民生委員と話し合い、お互い協力して訪問先を増加したい

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○明るい町内づくり ○下校時間帯の子どもの見守り活動を強化	町内パトロールを定期的実施	なかなか難しいが、青パトの活動を勧める予定である。子ども会スタッフで春と秋に朝の通学時間見守り環境調査など実施 月1回夜間パトロール実施	地域で実行しているパトロールの実態など、情報交換する機会を増やし安心安全な地域に繋がるよう取り組んでいきたい。空き巣の件数が減少。
	防犯灯のLED化	100%完了した自治会も多いが更に進むと思う	町内が明るくなり好評、電気料金も軽減されエコにも貢献していると思う。
	夜回り活動の実施	すでに8年間、5月～12月第2金曜日にメガホン、打子木を使い「戸締まり用心・火の用心」を発声しながら巡回している自治会もある。	防犯上、パトロールの強化を継続して広めていきたい。
	子ども110番のメンテナンス	子ども達に認知されていない、再度見直しの必要あり。	警察、交番と更に検討をお願いしたい。
	犬の散歩や花の水やりなど、普段の生活リズムの中で見守りを実施	犬のワンパトなど減少したが、普段の生活の中での見守りは継続中。 下校時間帯に合わせ、町内のゴミ拾いも兼ねて実施。	切替スタッフが強化され安全につながっている。登下校の挨拶も増加する中、老人などの挨拶が少ない。広報などで呼びかけ、更に見守りの活動を強化したい。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○あいさつしやすい地域づくり	老若男女問わずあいさつをする環境づくり	まちづくりセンター、共同自治会館、自治会館など集会所が増え、地域の茶の間を充実、子育てサークルなども増加している	町内の方々との交流が増え、更に楽しい行事の増加に繋がっている。
○高齢者の健康増進とコミュニケーションづくりを推進	地域の茶の間を開催する自治会の増加 お茶の間を開催している会館との情報交換を大切にする	まちづくりセンター、共同自治会館、各自治会館でも毎月元気塾、健康体操、地域の茶の間、合唱サークルなど地域の方々との交流が増えている。	医師、薬剤師、栄養士、運動推進委員、包括支援センターなどから健康への啓蒙が多くなりこれからの高齢者に役立つ。さらに高齢者の把握、交流を深めるため名簿を作成したいが難しい。警察、消防との連携による防犯、防災の啓蒙活動の強化

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○まちづくり協議会の事業を広報	広報紙を年2回発行して活動の周知を向上させる	目標通り今年度は2回発行した。	2回の発行で地域の方々に事業の理解を深めてもらう機会が増えた。 前期・後期に分け内容が解りやすくなり充実した。
○まちづくり協議会の活性化	自治会長会議の充実を図る 部会長会議を増やしきめ細かな意見交換をして会を充実して運営の向上を図る	当まちづくり協議会が新体制になり自治会長会議、役員会を増やした。活動も活発になると打ち合わせも多くなりセンターの活用が広がった。もっと多くの方にセンターへ足を運んでもらえるよう考えて生きたい。	学・社・民の方針に近づきつつある。更に体制を整え強化を図りたい。自治会長からの意見も多く聞き、今まで出来なかった事を認識して地域の連携をはかりたい。地域教育コーディネーターと同等のまちづくりのコーディネーターを新設し、学校、地域の連携がうまく回るようにしたい。

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名:東青山小学校区コミュニティ協議会

平成29年4月26日作成

〈基本目標1〉 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H28)	成果・課題等
○学校の地域連携室や空き店舗、空き家等の活用による地域の拠点、集会所づくりの促進 ○町内祭りや子供会行事の開催により、地域の活性化、多世代交流を促進	イオンコミュニティ広場の活用(地域の人が集う憩いの広場) ・絵手紙、絵画教室、おもちゃ病院等	未就園児親子の居場所の「東青山すくすく広場」「いこいの広場」「絵手紙の集い」絵画教室の「楽画季の会」「おもちゃ病院」の開催や、各自治会の総会・会議等に活用した。	「東青山すくすく広場」は、原則月4回(44回)開催し延べ1,200名の親子が来場。「絵手紙の集い」「楽画季の会」では、秋に合同作品発表会を開催し地域の方約200名が来場。「おもちゃ病院」は毎月1回開催。
	東青山ふれあい祭	第11回「東青山ふれあい祭り」を協賛し、支援した。	「東青山ふれあい祭り」は、延べ参加者3,000名。当コミ協は「駄菓子屋」を担当した。
	東青山ふれあいもちつき大会	「東青山ふれあいもちつき大会」を計画したが、残念ながら中止となった。	計画したが、ノロウイルス大流行に伴い感染症が拡大する恐れもあり、会場の小学校とも協議した結果残念ながら中止となった。
	お茶の間サロン	当地区自治会が「お茶の間サロン」開催場所として、イオンコミュニティ広場を活用	「いこいの広場」に、将棋や碁を用意して楽しんでもらった。当地区自治会が「お茶の間サロン」を月1回開催した。

〈基本目標2〉 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H28)	成果・課題等
○向こう三軒両隣の交流を深め、地域による安否確認等の促進 ○夜間における安全対策の強化	防犯協・自主防災会との連携	東青山小学校区自主防災会及び東青山小学校と連携して、「第11回地域・小学校合同避難訓練」を実施	「第11回地域・小学校合同避難訓練」を、参加者児童を含め733名で実施した。
	防犯パトロールの実施	東青山小学校区防犯協会と連携して、防犯パトロールを実施 「校区内安心安全児童見守り隊」活動の支援	年3回の防犯パトロールを実施。(7/22・9/1・12/22)
	交通安全街頭指導の実施	毎月15日朝の街頭指導の他、「地域・小学校合同避難訓練」後、帰宅時の街頭指導	東青山小学校区交通安全推進協議会・児童見守り隊と連携して交通安全の見守りを実施
	地域安全マップの活用		
	防犯灯の増設	各自治会により増設やLED灯に取り換え等をした	
	声かけ運動の実施	各自治会により実施	

〈基本目標3〉 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H28)	成果・課題等
○地域における環境美化活動など、地域活動の推進 ○車中心から歩行者中心のまちづくりへの促進転換 ○自転車歩行者道を活用した健康づくり	花いっぱい運動の実施(公園・道路等)	「まちの緑化運動」推進キャンペーンを実施。当地区自治会により「花いっぱい運動」を実施	
	古紙集団回収の実施	各自治会により実施	
	ゴミの不法投棄や犬のフン放置などに対する注意喚起看板の設置	「西区一斉クリーンデー」を実施。同時に「蚊の撲滅運動」を展開 「犬の糞対策」のキャンペーンを実施	「西区一斉クリーンデー」を参加者120名で実施 小針中学校生徒15名も地域貢献として参加 「犬の糞対策」のキャンペーンを「コミ協だより」に掲載等
	健康ウォーキングの実施		

〈基本目標4〉 みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況(H28)	成果・課題等
○民生委員・児童委員と自治会との連携強化	コミ協・自治会・民児協等の連携、地域合同情報交換会の実施	地域合同情報交換会実施	地域合同情報交換会を6月に59名参加で実施した。
○回覧板、掲示板等の有効活用による広報活動の強化	「コミ協だより」を年4~6回発行 講演会、講習会の実施	「コミ協だより」を発行 文化講演会・コミ協役員への講習会(マイナンバー)を実施	「コミ協だより」を、定期号3回・臨時号を発行した。
○コミ協、自治会役員のレベルアップ研修やボランティア講座の充実	掲示板の整備 自治会長連絡会議の開催		防犯掲示板の整備は、申請を行ったが申請団体多数の為、不交付 年2回実施(6月・12月)
○子ども達や学生をはじめ、多くの人の力を取り入れ、地域活動を活性化			

コミ協名:五十嵐小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助け合う地域づくり

平成 29 年 6 月 28 日

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○地域における居場所づくり ・集会所、寺尾中央公園(休憩所)、 コミュニティハウス、寺尾荘の 活用など	地域の茶の間を増設	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会ごとに1か所ずつ設置できるよう推進した。 空き家を集会所、(茶の間の会場)として借入たく、家主と交渉した。 民生委員宅を月2回、「地域の茶の間」として開放して良いとの話があり開催準備に取り組んだ。 茶の間について周知を図り参加者を募集した。 茶の間の一環としてに麻雀、将棋、碁等の倶楽部を作る準備をした。 老人クラブと連携し、茶の間活動が活発化するよう取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家を集会場として借り入れできた。会場が近くなったため参加者が増えた。 自治会行事として定着。月1回～2回の開催、参加者は15名～30名である。 週1回、開催している地区もある。 参加者が減っている地区や増えている地区があり自治会により差がある。 参加者が固定化している。男性の参加が少ない、活動内容を検討し募集する。 民生委員宅を月2回、借り入れ、「地域の茶の間」を開催した。 茶の間に「苔玉づくり教室」を開催し、高齢者の交流を図った。 年2回、茶の間を利用し「健康測定会」を実施した。(住民の健康づくり) 4人で始めた健康麻雀教室は参加者が増大、自治会以外の参加もあり、大勢で親睦を深めた。
	空き家の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 集会場の確保のため家主と交渉中。 集会場にするための準備を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家を借りることができた町内もあるが、なかなか難しい町内もある。 借家の管理、集会場の使い方を検討し、「茶の間」として活用した。
	五十嵐フレンドスクール、ひまわりクラブ、 ふうせんクラブ、五十嵐スポーツ振興会 など各種団体と地域が協力して実施	<ul style="list-style-type: none"> 新潟シティマラソン大会にボランティアとして参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの支援と熱心な応援は多くのランナー達を元気づけたと思う。 「ボランティアの応援する声に励まされ完走できた」と海岸線コースを走った選手の声が届いたと大会本部から一報が入った時は協力して良かったと思った。 来年はコースが変更、ボランティアが不要とのこと、他の団体行事に協力したい。
	地域の祭りやサークル活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 町内育成部と協力し各種のイベントを開催した。 地域の公園やコミュニティーハウスを利用し公園祭りや豆まきを行い三世代交流事業を実施した。 コミハウスを利用し民謡踊り、カラオケ等のサークル活動を行った。 バーベキュー、餅つき、いも煮会を行い三世代交流を図った。 餅つき大会や敬老会を地域の福祉施設と一緒に開催した。 東五十嵐夏祭りでは子ども樽きめたの御輿で町内を巡回した。 毎年、自前で恒例の夏祭りを開催、400名の参加があつた。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流事業終了後、子どもに限らず住民が互いに声を掛け合う様になった。 サークル活動は健康維持と交流の場として長く続いている。 バーベキュー、餅つき大会は大勢の参加があり世代間交流の成果が大であった。 自前の祭りは準備等、苦しいこともあるが楽しみも大きかった。
坂井輪まつりへの協力	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の管理に協力した。 交通安全協会西支部の要請に協力している。 自治会の「テント」や「控え室として集会場」を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続し協力していきたい。 	

<基本目標2> 安心・安全暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○近隣(向こう三軒両隣)にお ける助け合いの関係づくり	あいさつ運動、声かけ運動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 入学時や交通安全週間(街頭指導)に合わせ、通勤、通学者に声掛けを実施した。 近所の方々(向こう三軒両隣)への「声掛け運動」を呼びかけた。 小学校の仲良し子供会で交通安全や挨拶運動についてを指導した。 警察官同行で夜間防犯パトロールを実施した。 下校時、児童の見守りを実施した。 「あいさつ」は当然の礼儀として常に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の凍結が一番心配である。 子どもの方から挨拶されることが嬉しかった。 運動期間中に限らず常日頃、誰もが気軽に声かけが出来る「安心安全な街づくり」を目指したい。
	気づき運動(近所の様子への気配り)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、一人暮らし、障がい者等の世帯を定期的に訪問した。(時には、民生委員が同行するケースもある。) 班ごとに福祉支援員を配置し、見守り、気づき運動を実施している。 訪問はしないが気になるケースは近隣で気配りし見守っている。 情報交換会を年4回開催し見守り活動に役立っている。 ゴミ出し支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の安否確認を実施した。・近隣の見守り、気づき活動が定着してきた。 60歳代の一人暮らし男性2人が孤独死した。2人とも近所付き合いのない方で近所からの連絡が遅れた。 安否確認や見守り活動を検討する必要がある。どこまでやれるか不安である。 「ゴミ出し支援や友愛訪問活動」等について周知を図り実態の把握と希望者を把握し活動に結びつける。
	セーフティスタッフ活動(登下校時の見守り等)の活発化	<ul style="list-style-type: none"> セーフティスタッフへ活動の継続を依頼した。 春、秋の交通安全運動で立哨し、児童へ声掛けを実施した。 毎朝、4人のセーフティスタッフが小学校入口交差点で児童の交通指導と見守り活動を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が遠くから声を掛けてくれる様になった。 環境衛生部員が立哨に対応したが部員の高齢化がネックとなっている。 小学校、PTA、地域住民から感謝の言葉が寄せられた。
	地域の安全マップの活用、情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の住宅地図を作り各世帯へ配布し、情報の共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 転出、転入等の見直しができ良かった。
防災訓練への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練は毎年1回実施。(福祉施設と合同開催の地区もある。) 要支援者へ避難訓練への積極的参加を呼び掛けた。 近隣自治会との合同防災訓練へ参加した。 コミ協主催の防災訓練に参加し参考になった。 災害時、要支援者の支援が円滑に行えるように役員と組長が対象者の確認をした。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識の高揚に役立てた。 訓練内容を検討し今後も継続して実施する。 防災訓練の参加者の増加に努める。 参加者が85人、防災への意識付けができた。 町内回覧し参加を呼び掛けたが申し込みが少なく関心の無さが問題である。 要支援世帯から災害時の対応に「安心できる」と感謝された。 	

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別取り組み状況について

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○寺尾中央公園をはじめ、公共移設の有効活用	朝のラジオ体操、健康体操の実施	<ul style="list-style-type: none"> 中央公園を毎朝、ラジオ体操や健康体操に利用している。又、公園内は散歩やウォーキング等で大勢の方が利用している。 ハマナス公園の草取りを月2回実施し、「住民の憩いの場」とし、夏休みはラジオ体操会場にした。 自治会全員(子どもを含む)で公園の草木の消毒、除草を行い環境整備に努力した。 清心ふれあい公園、寺尾西公園及び「なんじゃ村」や第四銀行の駐車場、新潟工業短期大学の校庭を借りラジオ体操を実施した。 健康維持のため西総合スポーツセンターやコミュニティハウスを積極的に利用する人もいた。 自ら進める健康づくり教室を開催し「住民の健康づくり」に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みラジオ体操は老・若・幼が集まり賑やかで世代交流の場となった。 健康志向が高まっているのか年々、参加者が多くなってきている。 憩いの場の確保や公園愛護の観点からも草取りは毎月、続けて実施する。 小学校育成部員のおかげでスムーズにラジオ体操が実施できた。PTA育成部員だけでなく、自治会も協力する必要があると思う。 ラジオ体操は子どもだけでなく大人も積極的に参加するよう呼びかけたい。 自治会員全員での除草、清掃活動は町内の交流の場となり大変良かった。今後も継続して実施していきたい。 公園内を常日頃、綺麗に清掃しているせいか、親も安全な場所だとして安心して子供を遊ばせている。 食事や体操に対する意識を再認識してもらえた。
	利用に当たったのルールづくり、環境整備(ボール遊びや自転車乗車など、禁止されている使用方法を可能とする時間帯を設定)	<ul style="list-style-type: none"> 広範囲の市民が利用する場所であるため検討中。 公園の花いっぱい活動に協力した。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央公園は多くの方が訪れ利用するので、危険箇所や壊れている遊具がないか注意し見守った。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報交友とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会・民生委員・児童委員・学校・行政・社協などとの連携強化	定期的な連絡会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> コミ協の役員会を月1回、理事会(自治会長)を隔月1回開催した。 総会を民生委員、保護司、商工振興会、各福祉団体等の参加を得て開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会運営の円滑化に役立った。
	自治会単位(班、組などの小グループ)での話し合いの実施	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の役員会は毎月、班長との合同会議は隔月に開催。 自治会の役員会に民生委員の出席を依頼し情報を共有した。 自治会長が民生委員や防災会の役員を兼務しており、情報の共有が図られた。 班内会議を年、4回開催し情報交換をしている。 班ごとに福祉支援員を一人設け、班内の見守り、気づき運動を実施し、年4回、情報交換を行い活動の活発化を図った。 重要案件があるときのみ班内会議を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治・町内会運営に役立った。 近隣の見守り活動が定着してきている。 個人情報の扱いは難しいが自治会活動に生かせる面もある。 班内会議の開催は、班ごとに温度差あり開催が難しい班がある。 民生委員、PTA育成部の連携が必要である、自治会会議へ出席を依頼した。 自治会活動は班の活動が基本であり、相互の理解を深めるためにも、班会議を活発に行う必要がある。 班長の負担になるため班内会議の開催が出来ない。
	地域の広報誌発行	<ul style="list-style-type: none"> 町内だよりを年3回～6回発行し情報提供をしている。 町内だより、防災だよりを定期的に発行している。 総会、役員会の決定事項を文書で回覧している。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内の状況(動き)が把握でき、隣り近所が声を掛けやすくなった。 町内だよりを発行していない町内もある。
	地域住民の知識、技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> お茶の間の一環としてパソコン教室を毎月4回開催している。 自分の持っている技能を登録して頂く「マイスター運動」を呼びかけた。 防災に長けている方から、老人クラブの会で防災についての注意事項等を聞き防災に役立てた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会行事のポスターを作り地域掲示板に貼り、広報に役立てた。 期待したような展開にはならなかった。呼びかけの方法を工夫し引き続き登録してもらえるよう呼びかける必要がある。
	地域活動の担い手の発掘	<ul style="list-style-type: none"> 諸行事を行うことによって色々な特技を持っている方を発掘することができ、自治会行事の充実が計られた。 「新青年部」を結成し担い手の発掘につとめた。 役員選考委員会を設け、後退役員の選出をしている。 役員を輪番制にし自治会活動への理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 老人会や育成部と連携をとりあい、活発な自治会活動を行いたいと思う。 新青年部の協力のおかげで町内行事がスムーズに実施できた。 役員選考に苦慮しており、選出方法の見直しが必要。 後継者の発掘と育成につなげたい。

・茶の間の開催は、21自治会の内9自治会が開催している。

・茶の間を開催したいが集会場がない、コミュニティハウスは遠すぎ不便である。空き家に限らず開催場所を早く見つけたい。

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：真砂小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年6月19日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○認知症の人を支えるしくみづくりの推進	認知症サポーター養成講座の開催	コミ協福祉部会で開催	コミ協事業として期待通りの成果はあった。今後は自治会単位の開催促進
○女性の地域活動参加を促進	自治会役員等の女性登用	登用に努めたが現状維持	コミ協副会長に登用 (H29・5～) 役員になろうとする者が少ない
○高齢者や障がい者の買い物支援の検討	向こう三軒両隣の助けあい活動	民生委員、自治会、隣人による安否確認を含め実施	引き続き実施
	支援組織(グループ)の立ち上げ	1自治会で「おたすけ隊」事業実施中、コミ協人材センター設立検討会開催	29年度に引き続きコミ協で人材センター設立に向けた検討会開催
	地域の商店への働きかけ(宅配)	商店の対応状況を把握	引き続き把握と働きかけを実施

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○安全な通学路の確保(防犯、交通安全)	子どもたちを気づかい見守る人を育成	育成部地域連絡会、PTA等の校区内巡視、セーフティスタッフによる見守りやコミ協安全・防犯部会での青パトによる巡回・防犯パトロールを実施	交通安全、防犯対策に成果を上げている。引き続き実施する
○自主防災活動の活性化	防災研修、活動交流の推進	各自治会自主防災会で防災訓練を実施。コミ協で避難所運営体制を整備	避難所運営体制の推進
	自主防災組織の立ち上げ(未組織の自治会)	自主防災会未組織1自治会	引き続き組織化を支援。災害時要援護者支援計画の未策定自治会への支援
○防災に対応した生活道路の整備 ○空き家、空き地問題の対策検討	道路整備や空き家対策の行政への働きかけ	狭隘市道の拡幅や私道、歩道除雪の改善を市に要望中 空き地、空き家対策を市に要望中	引き続き要望。空き家については「地域の茶の間」活用視野
○除雪要援護世帯への支援	除雪ボランティアの組織づくり	自治会又は5人以上の組織で市助成。実施団体数件有る	組織化し成果を上げている団体もある。手続きの簡素化

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○スポーツを通じた健康増進(介護予防を若い世代から)	健康増進体操等の講座を推進	コミ協スポーツ部会でスポーツ健康教室など開催	成果が期待されることから引き続き開催
	健康講座指導者の育成	28年度にコミ協で人材センターの設立に向けた検討会開催	引き続き検討会開催
○高齢者の引きこもり対策	自治会単位で地域の茶の間を開設	地域の茶の間 H28 1か所開設、1か所閉所。3か所開設中	自治会単位の開設推進 29年4月から1か所開設
	高齢者が集まって、運動や趣味活動、交流ができる場づくり	地域の社会文化活動の拠点とまちづくりセンターとしての役割を担う コミュニティハウスの建設を市に要望中	引き続き要望

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○地域課題の把握	住民アンケートの実施	平成26年度に実施、それらを参考に「真砂地域活性化5か年計画(平成27～31年度)」を策定	活性化5か年計画の推進
	座談会の開催地域を増加		
○小・中学校、高校、大学や病院、福祉施設等と地域のネットワーク強化(多世代交流含む)	自治会と民生委員・児童委員の情報の共有化	民生委員との情報の共有を図り、自治会との連携を図った	引き続き情報の共有を図る
	地域と学校や病院、福祉施設等の共催事業の開催	小・中学校、明倫短期大学との情報交換など連携を図った 「真砂小学校区コミ協だより」21号・22号を刊行し情報提供した	28年度にコミ協福祉部会で明倫短期大学の協力を得て「歯の健康」の講演を開催。コミ協だより刊行の継続
○地域の生活環境の改善	ゴミの出し方、ペットのマナー等のルールの徹底	立て看板等で注意喚起、側溝清掃、海岸一斉清掃の実施	引き続き実施。飛砂対策の浜にんにく植栽、保安林の黒松植栽・保育も継続実施

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：青山小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年 6月 20日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○交流拠点の充実 児童、障がい者、高齢者など地域住民の交流の場としての茶の間を充実	既存の茶の間との連携強化 有明福祉会館、青山コミュニティハウス、マナの家、個人宅など7か所	①有明福祉会館(なごみの部屋・月2)(らっくり・月1)②コミハ(さくら会・毎週)(関屋堀割町・月1)(青山さくら会・月1)(プランタン・月1)(キンヨウカイ・月1)③マナの家(たまり場・週1)④他、自治会・個人宅等7か所・・・開催状況把握と順次広報紙に内容を掲載開始した	コミ協として活動内容や対象者等の把握だけでなく、地域の人々に情報発信や参加増加へつながる組織としての課題を実感している
	新たな茶の間の開設に向けた活動の展開 空き家、空き店舗の活用	① 赤ちゃんと母親を対象に月一回「おしゃべりカフェ」 ② 浦山自治協で月一回「いきいき健康づくり」の集い7月より開始	① 221組の親子さんが参加してくれ、駐車場が不足気味 ② 毎回20人以上の参加者で、年間191人の来館 健康寿命延長を目指し、簡単に出来るヨガ体操を主に実施した
○日常生活における助けあい活動の強化	助けあい組織の確立	① 要援護者の自治会ごとの情報把握と支援体制づくり ② ほとんどの自治会で実施している ③ 友愛訪問世帯が増加している ④ ボランティアスタッフ・民生児童委員・婦人会等による訪問活動	新設の茶の間拡大と既存の茶の間の参加人数の増加
	地域に根差した活動の展開		友愛訪問活動と自治会・包括支援センター・区保健師・民生児童委員・社会福祉協議会との連携

0

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○災害時における対応の強化	自治会、民児協などとの連携強化	自治会長・町内会長はコミ協内役員と兼務しており、民児協とは、福祉会館活動を含め普段時から連携を維持	今後も、有明・浦山の両自治協及び民児協との連携を軸とした展開が重要と認識している
	青山小学校との連携強化	青山小学校PTA及び青少年育成協議会とも、学校行事を含め連携の強化を維持	災害、防犯想定のみならず、ふれあいスクールや学校行事とのかかわりを更に持ってもらえるかが課題
	防災訓練の継続実施 有明自主防災会、浦山自主防災会	例年9月に、有明地区(青山小学校)・浦山地区(ふれあい公園)と会場は分かれるが、青山小学校と連携し防災訓練を実施している。	これからも継続していくが、今後中学生や高齢者(要援護者)や一人暮らしの参加をどのように仕掛けていくか、課題は多い
○交通安全活動の推進	通学路の安全確保	セーフティスタッフや各自治会のPTA父兄の通学時や退校時の安全指導と見守り活動	危険個所の対応は、課題が多く、セーフティスタッフのみならず危険個所対策を含め継続的な対応をしていきたい
○防犯活動の啓発	防犯・交通安全体制の拡充	防犯ポスターや交通安全週間の旗を掲げて啓蒙活動 集団下校訓練(青山小)への参加	各自治会単位の防犯体制が主体 コミ協組織として、出来る範囲の協力を継続していく
○日常の見守り活動の推進 認知症高齢者や幼児・児童など見守り活動の充実	茶の間の充実と拡大	「おしゃべりカフェ」や「いきいき健康づくりの集い」のように気軽に参加の確保	空き家対策を含め、身近でいつでもだれでも利用できるような地域の茶の間が理想である
	自治会、民児協、PTAなど地域組織団体との協力体制の強化	青山小学校のふれあいスクールや児童センターの児童の見守り活動は体制が出来ている	会長やスタッフの高齢化と民生児童委員を含め引き受けてくれる人材不足は全ての組織の課題である
	セーフティスタッフの活動推進	スタッフジャンパーや帽子等作成時の協力 広報面の協力	人的協力体制は難しいが、取り組んでいかなければならない課題と考えている
	友愛訪問活動への協力 取り組み自治会への協力拡大	上記記載内容と同じ	上記記載内容と同じ

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○有明福祉タウンや各福祉施設・医療機関との共生	施設及び地域防災訓練への参加協力	自主防災会主催の防災訓練にスピーカーやマイクまたは機等の側面支援	防災訓練の写真展や広報記事掲載で、例年どおり参加協力出来た
	福祉タウンとの連絡会、懇談会の開催	児童セーターとの意見交換や行事等の協力	イベントへの参加要請に対応できるような体制づくり
	有明福祉会館の活用	青山コミュニティハウスが浦山地区にあり、有明地区自治協の活動拠点として、重要視している	福祉部検討会や福祉講演会等、福祉部中心に活用できて良かった。これからも連携強化していく。
	有明福祉タウン行事への参加協力	有明児童センターを含め、各行事への共催と後援	浦山は青山コミュニティハウス、有明は有明福祉タウンの拠点として今後も活用 行事については、これからも相互扶助精神で
	有明ふれあい夏まつりの共同開催 有明福祉タウンとの合同行事	有明ふれあい夏まつりは28年度は復活実施	29年度以降も恒例行事として協力していく
○地域交流のためのイベント開催	世代間交流事業への援助協力 そうめん流しの実施	児童センターの児童や有明タウンの高齢者主体に、8月1日に実施	参加者の活況の反面、主催側の高齢化と準備面の負担増対策が課題
	有明地区ふれあいの集い、浦山地区ふれあいの集いの実施	有明地区：9月6日（火）有明園にて実施 浦山地区：9月12日（月）じよいあす新潟会館にて実施	有明地区は対象80歳から、浦山地区は75歳で実施したが、移動面や椅子に腰かけての希望多く、開催場所や参加年齢の再検討が課題として上がり、浦山地区は28年度から対象77歳以上と会場をイス席の新潟会館に変更することに決定
	環境整備活動への援助協力 関屋分水清掃及び花文字活動など	5月28日（土）に花文字花壇作り 7月31日（日）信濃川クリーン作戦を開催	花文字参加者は増加傾向であるが、信濃川クリーン作戦は自治会役員を中心とした人員が固定化しており、幅広い参加者への呼びかけも必要と感じている

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○情報共有のための地域ネットワークづくり	施設の広報紙などの配布・回覧	有明自治会8、浦山自治会13あり、青山コミハに各自治会ごとの設置棚があり、配布回覧依頼は容易	近所付き合いのツールになればと期待している
	自治会、民児協、高齢者・障がい者団体などの地域団体をはじめ、有明福祉タウン、青山小学校、青山コミュニティハウス、コンビニ、郵便局、薬局、新聞販売店、牛乳販売業者などとの連携強化	地域包括ケアシステムづくりに向けての確認段階	地域包括ケアシステム（案）を作成した段階。自治会役員・福祉担当・民児委員・友愛訪問員・地域福祉活動関係者等の福祉関係者交流会の継続開催やこれからのネットワーク作りや連携強化が課題である 浦山地区自治協で「いきいき健康づくりの集い」を7月から実施
○広報紙（情報紙）の発行	コミ協だよりの活用	地域の行事や青山小学校PTA、育成協の活動や自治会・町内会の動向などをタイムリーに年三回広報を発行し、小学校区全戸に配布	興味を持たれる紙面づくりと、作製段階のボランティア協力体制やスタッフの後継者づくりが課題
	掲示（各種店舗の掲示コーナーの活用）	地区図書室を兼ねている青山コミュニティハウスに催事の都度、廊下に写真を掲示 行事ポスター等は、福祉会館や商店に依頼	行事参加につながったらよいがと期待している 今後もタイムリーな広報活動を目指す

【スケジュール】 ①4月下旬：コミ協宛て作成依頼 ②4月下旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」 コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：小針小学校区コミュニティ協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年6月30日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○声かけや見守りの強化	隣近所と日頃のお付き合い	自治会による隣近所の絆の必要性を推進中	隣近所の「絆」構築はまだ未熟である。
○困った時に「助けて」と言える地域づくり	友愛訪問の立ち上げと実践を推進	友愛訪問未整備自治会に対して立ち上げを要請中	一部自治会で取り組みの検討と実践中。今後も実践を要望
○多世代交流の活性化	多世代が交流できる行事の開催	自治会、小針地区合同行事への地域住民の参加は増加中	少子高齢化を迎えた地域の団結と活性化が芽生えてきた。
○地域の問題や困りごと相談	アンケート、意見交換会の開催（自治会単位）	自治会長会、部会の開催などによる地域課題の解決を図った	自治会長会など構成団体との意見交換会の強化を図る
○高齢者の交流の場を増やす	交流のための集会所確保	借り上げ集会所などによる「茶の間」の推進中	一部自治会で借り上げ集会所を整備し「茶の間」に活用
	老人クラブの加入促進	高齢化による加入の減少と、身近な「茶の間」に移籍中	「茶の間」推進整備による自治会の体制変更

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○空き家や空き地の対策	空き家・空き地マップ作り	一部自治会で作成済みであるが、取組みに関心が薄い	地域全体として取り組む必要がある。
○路上駐車防止や交通安全の取り組み	危険道路等の指導	登下校時の交通安全指導と見守り活動を実践中	セフティースタッフの活動による交通安全指導
○地域防災力の強化	避難場所の周知と防災訓練の参加促進	新潟地震避難訓練、地域合同防災訓練、防災講座などの開催	防災訓練、防災講座の開催による地域防災力が強化されている
○ゴミ出しマナー違反の減少と対策	ゴミ置き場の定期的な実態調査と指導	西区一斉クリーンデー、ごみ問題研修会開催等により改善	ごみ問題の課題解決に向け行政、地域純民の協力が不可欠である
	高齢者向けゴミ分別カレンダーを作成（行政へ提案）	要望中	引き続き担当部署に要望する
○子ども達の遊び場の増設（屋内外施設）	公園の整備・充実を推進	要望中	引き続き施設管理者に要望する

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○みんながあいさつをする地域づくりの推進	積極的な声かけ・あいさつ運動は、子ども達と小・中学校と連携で実施	小針小中学校の児童生徒による率先実践中である。	率先実践中であり今後も継続し励行してほしい。
○お互いの得意なことを出し合い、交流し、仲間づくりができる場の開設	机、椅子があればできる施設（公民館、公園等）	関係公民館と協議したが先送りした	施設管理者等を交え検討する

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会、民生委員・児童委員、友愛訪問員、社協、包括支援センターと情報共有できるネットワークづくり	自治会に福祉部や友愛訪問制度を確立	大半の自治会で整備されている	一部自治会は役員が1年交代のため未確立地域が見られる
	適度なおせっかい	人間関係の構築が条件の一つであるので取り組みが進まない	人間関係の構築が難しいため今後の課題である
○地域のリーダーの人材育成	人材育成講座の開催	自治会長研修会等で人材育成に努めている	人材育成講座などの開催により強化を図る
○災害時等に備えた情報の共有	避難所、避難経路の情報提供と連絡網づくり	避難場所、避難経路はハザードマップを全戸配布で周知	ハザードマップの配布と防災訓練等で周知されている
○地域の結びつきを強化（絆づくり）	イベント参加の呼びかけ	小針納涼大会、コミ協主催による各種行事を開催し参加要望	コミ協、構成団体の主催する行事は一定の効果を上げている

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：黒崎南ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年 5月18日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○だれもが気軽に参加できる機会の提供を推進 ○地域交流のきっかけづくりを推進	各地区の集会所や公民館などの活用	黒崎南まちづくりセンターを拠点に、ふれ協各自治会や各種団体の活動内容を周知・発信する資料づくりの場に活用したり、地域のお茶の間広場や黒崎南ふれあい協議会主催の輪投げ大会や夏休み縁日などの事業を実施する。	まちづくりセンター内設置の印刷機・コピー機等を活用して各団体の情報発信が活発化された結果、地域間の情報伝達が格段に向上して活性化が促進された。
	クリーン作戦、収穫祭、運動会、敬老会など、各種行事の活発化	西区一斉クリーン作戦や地域のふれあい運動会・農業まつりなどの各種行事を行い各地区の盛り上がりを促進している。	拠点となるまちづくりセンターの利用が進んだ事により各種会合、行事等が予定通りに開催できる利点が生み出されている。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○地域の高齢者を見守るため、隣近所で声の掛け合いを推進 ○子どもの見守り活動の推進	地域でのあいさつ運動の実施	年々少子高齢化が進んでいる中で、当地域は農村集落で二世帯以上の同居住宅が多い事が幸いし、自治会等の取り組みが無くとも自然発生的に声掛け運動が成されている。	農村集落で高齢者も自前の田畑を有しているため、家庭菜園等を行い元気で暮らしている高齢者が多い。
	まめっこクラブの活動を周知し、地域全体での見守りの実施	民生児童委員・木場交番等を含めた学校見守り隊を中心に活動している。	南小児童も安心して勉強や遊びを楽しんでいる。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○隣近所で協力し合う地域づくり	ゴミの分別方法やごみ出しルールの周知徹底	各自治会のクリーンにいがた推進員を中心に活動を行い、ゴミ出しルールの遵守に努めている。	活動を通じて違反ゴミや不法投棄の減少が進んでいる。
	高齢者のみの世帯の除雪作業を協力	農村地域で多世代同居等も多い事もあり、大雪の際には農家所有のトラクターが周辺の除雪作業に努めている。	積雪時のトラクター除雪が進んでいるため高齢者からの意見要望や苦情等は少ない。

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会の活動の積極的な広報 ○高齢者を地域でささえ合う体制づくり	回覧板の活用	各自治会で全戸配布資料や回覧資料等を小まめに発信する活動を通じて、地域の情報収集・情報伝達が深まる活動を促進している。	地域の情報を出来るだけ多く発信することが出来た。
	高齢者のみ世帯への声かけ、見守り活動	地域の自治会役員、民生児童委員等を通じて高齢者の見守りを実施している。	年々高齢者が増加している中で、当ふれ協では特に問題となる事例が少ない。

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

コミ協名：大野校区ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年6月28日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会・町内会が中心となり世代を超えた人たちが集える場を開設 ○サークルや団体同士が交流できる行事の実施 ○自治会内の有志やサークル活動などを自治会、町内会で支援する仕組みづくり ○近所同士のあいさつや声かけの活発化	餅つき大会、納涼祭、盆踊り大会、賽の神などの地域行事の開催	さいの神、夏まつり、餅つき大会、盆踊り 地域行事の開催は各自治会とも活発に実施。	子どもから高齢者まで多数参加し、地域のコミュニケーションの場となる。
	お茶の間サロンの増設	老人会が中心となりお茶の間 開催(月2回)	ゲートボールの練習仲間づくりへつながる。

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○子どもや高齢者の見守り活動の推進 ○民生委員・児童委員、自治会・町内会における要援護者情報の把握の促進 ○自主防災組織の立ち上げ、強化、定期的な会合などによる防災意識の醸成	学校と連携したあいさつ運動の実施	高齢者の見守り活動の推進、独居高齢者、空家の増加	民生委員不在の自治会があるので、各自治会に配置して欲しい。(H.29年も要望) } 継続
	登下校時の安全パトロール、交通安全指導の実施	登下校の安全指導(月1回実施)	
	防災訓練、避難訓練の実施	防災・避難訓練の実施(年1回実施)	

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○地域における生きがいづくり、健康づくり活動の推進 ○自治会・町内会が中心となって、地域環境の美化運動などを促進	健康講座、健康体操教室の開催	高齢者対象の健康づくり講座の開催(年1回実施) スポーツ振興会ふれ協共催のスポーツ教室(年2回)	年間事業として定着し毎年実施。 生涯スポーツへの取り組みとして、黒崎4校区でフロンティアの研修会を開催。 自転車道の草取りが非常に大変で除草剤の支給について頂けないものか?
	老人憩いの家の活用促進	地域包括支援センター共催、健康教室開催	
	公園や空き地、道路(側溝)などの清掃活動、美化運動(花植えなど)の実施	通学路、ランニングロードの清掃活動を実施 自転車道の草取り、危険箇所点検	

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会・町内会の広報活動を活発にし、地域行事の宣伝を強化 ○区役所や区社協、地域の各種団体などと情報交換を行い、連携を促進 ○自治会・町内会が主体となり、担い手の発掘・育成を促進 ○障がいがある人でも地域活動などに参加できるよう環境づくり	ふれ協だよりの発行	本報誌 年1回作成 全世界へ配布	
	回覧板等の有効活用	各事業のお知らせで活用	
	自治会・町内会と民生委員・児童委員との情報共有	スポーツ振興会と協力して事業を開催。	
	PTAと連携した地域全体での子どもの健全育成	学校へ登録して活動。	
	個人の特技、技術を活かしたボランティア活動		

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」 コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：立仏校区ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年6月23日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○立仏小ワンダーランドに、地域の高齢者からの参加を促進 ○高齢者の活動の中で、子どもたちも参加できるイベントを実施 ○親子の居場所づくりの推進 ○集会所、公民館、公園などを気軽に利用できるようにし、地域住民の憩いの場として有効活用 ○清掃活動等への参加を多くの人に呼びかけ、地域のふれあいの場として活用	立仏ふなっ子の活動	毎月1.ホ2.ホ3.ホ4月曜日4回 AM10:00~AM12:00南催	28年度保護者265名 子ども340名参加
	立仏小ワンダーランド事業	毎週月.水.土曜日南催 平日 PM 3:00~4:20 土曜日 AM 9:00~11:20	28年度参加人数 3434名 1年生729名 2年生861名 3年生580名 4年生316名 5年生14名 6年生756名
	地域の茶の間事業		
	地域の公園清掃等	地域毎の公園清掃は定期的に行っている。	確実には実施されている。
	あいさつ運動を地域全体で推進	立仏小学校指導されており、各自協会でも推進している。	中学生、高校生も挨拶してくれる様になった。
	西区一斉クリーンデーへの積極的な参加	毎年8月ホ一日曜日に実施している。	各自協会とも積極的に参加しており、28年度は291名参加

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○各自が隣近所とのコミュニケーションを密にし、特に高齢者や子どもたちへの声掛けを積極的に実施 ○セーフティスタッフの増員を図り、児童の安全を推進 ○年間を通じて夜回りができるような体制づくりを協働で推進 ○大人も子どもも防災意識の醸成を促進	通学時交通指導の実施	交通安全指導員による毎月100名校時街頭指導及び子ども見守り隊による毎日の登校時の交通指導見守り。	無事故で長期実施の成果と見ます。
	防犯灯の点検や不法投棄の見回り	生活環境部会による夜間巡視を行っております。 3月20	不良行為なし 5名参加。
	生活環境部会による定期的な点検活動	交通安全交通安全講習会 11月19日	23名参加
	総合防災訓練、あそぼうさいの実施	防災部会による避難所運営訓練等 9月11日 あそぼうさい6月18日	研修会 34名、あそぼうさい 165名参加。

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○高齢者等の「見守り」推進 ○生涯学習の推進 ○遊歩道の利用促進	友愛訪問、声掛け活動等の推進	民生委員児童委員と地域老人会等で行っている	立仏校区で民生委員児童委員 7名。
	施設めぐりや健康教室等の実施	重光市政大里... 新津の石神の世界館 さわやか健康体操 新井県庁 7月7日 巨匠のまち歩きツアー 6月4日 9月6日	32名参加 22名参加 23名参加
	遊歩道を利用したウォーキング等のイベント		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○地域住民が自治会の活動、行事に積極的に参加し、住民同士のコミュニケーションを深めて情報の共有を促進 ○昼間在宅者による情報共有や連携の仕組みづくりの推進 ○若い世代や子どもたちに積極的に働きかけ、早い時期からの地域活動、福祉活動への参加促進 ○自治会役員などへの積極的な女生登用。また女性からも積極的に参画できる雰囲気づくり	幅広い年代層を対象とした、餅つき大会等の交流イベントへの企画・実施、参加呼び掛け	教職部によるソフトバレーボール大会 7月16、27日 30名 延岡市対「じわ」料理作り 11月6日、13日 「学校へ行こう、そして学びたい」(いじめ、いじめ教育)	31名参加 11月6日 22名 11月13日 24名 9月16日 447名
		各自協会でも実施 バルーン大会、夏祭り大会、賽の神、餅つき大会	各自自治会で開催され親しく親睦をとっております。

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告

「第2次 いきいき西区ささえあいプラン」コミ協別計画の取り組み状況について

コミ協名：山田校区ふれあい協議会

<基本目標1> 私たちが支えあい、助けあう地域づくり

平成29年6月2日作成

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○子どもや高齢者、地域の人たちの居場所や地域集会の場として、学校施設や公民館、憩いの家、空き家などを有効活用（使い勝手のよい利用） ○自治会ごとに高齢者、子どもが気軽に参加できる場所を確保（一部の地域では毎週木曜にいきいきサロンを開催）	既存サロンの継続と、新たなサロン（多世代交流や高齢者対象）の立ち上げ	・一部の地域では老人会で毎週木曜日にいきいきサロンを開催 ・ふれあいチャレンジカップ大会 ・自治会では9月に敬老を祝う会を開催している	・参加者の減少が続いている。 ・ヒンコゲーム、オセロ、将棋の対戦を行う。 ・スナック会場で話し合いがみまかされて元気をだした。
	老人会や子育て世代（親子）の協力を得て実施		

<基本目標2> 安心・安全に暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○空き家とその周辺環境の整備を検討 ○地域見守り隊を結成し、危険箇所など地域の定期的な見回りを強化 ○自治会・町内会の広報活動の強化により、防犯、防災意識の啓発促進	自治会・町内会が中心となって継続	・自治会・町内会を中心として継続 ・防災、救護訓練（要援護者マップ等利用）の継続実施 ・セーフティスタッフ体制強化	・黄色いハンカチの要援護者との連絡確認、消防団を講師に招きおこなう。 ・各自治会を中心としておこなっており、管内全体で取り組むには、その意見もあきらかにあきらかに実現できていない。
	防災、救護訓練（要援護者マップ等利用）の継続実施		
	避難完了の目印の設置などの協議、検討		
	セーフティスタッフを随時募集し、体制を強化		

<基本目標3> 健やかでいきいきと暮らせる地域づくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会・町内会が中心となって、ごみ出しルールの意識向上や不法投棄の防止を強化 ○クリーンアップ活動を持続的、計画的に実施 ○公園で子どもたちが遊べる環境を検討	ごみ分別講座の開催	・ごみ分別を自治会にて徹底し周知 ・ゴミステーションの清掃 ・「西のけりクリーンデー」に参加 ・毎月1回の草刈りと清掃	・空き缶、古紙の資源ごみを回収し自治会の収入源となり、力を入れている。 ・一斉クリーンデーは、地域をあげて活動し、217名の参加があった。 ・地域内の「やまの公園」の草刈りと美日習習の行っている。
	月1回程度、自治会・町内会内の点検、清掃を実施		

<基本目標4> みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

行動目標	具体的な取り組み	取り組み状況 (H28)	成果・課題等
○自治会・町内会における地域の課題や情報の周知と農林部との連携強化 ○子育て世代、若い世代とのコミュニケーションを構築し、地域の文化、取り組みなどを次世代に継承 ○様々なボランティアに関わる人材の発掘と社会参加 ○見守り、支えあい活動などの体制づくり	地域の子供祭りなどへの参加	・おもしろ祭り大会 ・地域芸術祭 ・PTAバザー ・紙芝居事業 ・「新く市立教室」に参加（22名）	・カラオケブロック（木製）で自作の楽器を制作し、親子共々楽しんだ。 ・大鼓、笛、箏で小鼓の祭り等で発表 ・新しく「おきく」大鼓の曲を習得し練習を怠っていない。 ・「いこいの学校、あひるのようきま」の紙芝居を購入、上演した。
	ボランティアに関する情報提供を推進		
	高齢者の孤立、悩みに対する相談支援者などを自治会・町内会で協議検討し、相談会を開催		

【スケジュール】 ①3月中旬：コミ協宛て作成依頼 ②3月中旬～6月：コミ協ごとに取り組みの振り返り・作成 ③6月末：区役所へ提出 ④7月中・下旬：推進委員会で報告